

岩屋中だより

令和6年4月11日 NO1

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

幸せを掴む新しい自分・新しい集団をつくる

令和6年度がスタートしました。4月8日（月）には、第2学年、第3学年の生徒で始業式を行い、そして、4月9日には、入学式を迎え、新入生を迎えて新しい生活がスタートしました。対面形式の始業式は久しぶりなので、スライドを作るべきか否か迷いましたが、少々の見えづらさを覚悟してスライドを作成し、始業式に臨みました。入学式は言葉だけにしましたが、始業式においても、入学式においても伝えたいことは、基本的には同じことが多いので、本通信では、スライドを示しながら、伝えたいことを記します。

今の自分

新しい仲間

新しい生活

期待

>=<

不安

複雑な気持ち・・・当然です・・・

新2年生の皆さん、新3年生の皆さん、進級おめでとうございます。今、皆さんは、昨年度までとは違った、新しい仲間と新しい生活を始める初日です。新しい環境に置けるわけです。不安がありませんか？期待もありませんか？不安な気持ちはあって当たり前です。自分とは異なる価値観や考え方、性格と出会うのですから、当然でしょう。もちろん期待がたくさんあるとも思います。

今の自分

今年、〇〇〇したい など新しい自分の姿を思い浮かべているのではないのでしょうか

新しい自分になる（チェンジ）

変わる好機（チャンス）

変わるために挑戦する（チャレンジ）

幸せにつながる

さて、私たちの人生には、節目というものがあります。竹は細く長いのですが、節目があるから長くても倒れないのです。私たちの人生も、長いです。その長い人生の節目にあたるのが、新年度を迎えた時だったり、お正月であったりするわけです。

きっと 皆さんの心の中には、3年生ではこうするぞ！2年生ではこうするぞ！という気持ちがあると思います。それを『志』と言い、簡単に言えば、目標です。目標が定まるということは、目指すべき姿が定まったということです。

この1年間で皆さんは大きく変わります。（チェンジ）今は変わる絶好の機会（チャンス）です。そして、変わるために挑んでください（チャレンジ）。そうすることで、幸せ掴む第一歩になります。今の気持ちを忘れずに、大切に、毎日を生活していきましょう。

不安や期待が入り混じっていたとしても、ここで、新しいスタートをしようと思える自分がある。仲間がいる。

あたりまえなのだろうか？

有難し（ありがたし）
ありがたいこと

先月に行われた卒業証書授与式の中で、今の私たちの生活は決して当たり前ではないということをお話しました。今日、こうして、新しい仲間とこの日を迎えることができたことは、当たり前のことではなく、有難いことだと思います。この出会いは、この瞬間は、この空間は、『有難し』であることを感じてスタートしたいものです。有難し=ありがとうという気持ちです。

ここにいるすべての人が幸せをつかむために

有難し=ありがとう

支えあい=思いやり=優しさ

辛 + 一 = 幸

つらいけど、何か一つ加える（プラスする）

吐 → 叶

うれい
憂

かなしみ、不安、心配などの状態を意味する。人は、悲しみ、悩み、不安を抱え、大丈夫だろうか。あーあ・・・と考えるもの・・・

まわりの人が、その気持ちに気づいて寄り添うことができば・・・

優

互いに、幸せをつかもうとするととき（私たちの成長。自己実現）

優しさ、思いやり、支えあいの気持ち

チームのありかたは、個々人の成長につながる



さて、今年1年間の皆さんの生活を送るうえで、キーワードを触れておきましょう。

皆で幸せをつかむために、

一つ目は、『有難し』です。違う言葉でいえば、『ありがとう』ふたつめは『支えあい、思いやり、優しさ』を持った集団です。

幸せという言葉は、昨年度から何度も使ってきた言葉です。幸せをつかむためには、掴むための努力が必要です。待っていても、幸せは、向こうから歩いてはきません。幸せをつまもうとする過程で、辛く、苦しく、弱音を吐きたい時があるはずで。ここで、運気を幸せに向けるには、マイナスの言葉をなくし、何か自分にとってプラスになることをすることで、幸せになるのです。（辛いという字に一を加えると幸せになる話です。）今、皆さんは幸せになろうと新しい気持ちでこの場にいると思います。その気持ちを大切にして、幸せになるために様々な力を伸ばしてほしいと思います。

また、集団で生活していくうえで、周囲にマイナスの言葉を吐いたり、汚い言葉を吐いたり、自分自身にマイナスの言葉を吐いたりするのはなく、私たちの行動から『マイナス（一）』の言葉をなくせば、幸せは『叶』います。

とはいいながらも、苦しいことは苦しいし、辛いことはいやですね。毎日幸せだったら、どれだけ楽か・・・私もそのように思います。

自分が苦しいときに、そっとそばにいて、その苦しい気持ち寄り添ってくれる人がいたらどうでしょうか？これが優しさですね。優しい人間が増えれば増えるほど、私たちが生活する集団は楽しく、そして、これをがんばろう、あれをがんばろうとなるのではないのでしょうか。つまり、私たちが幸せをつかもうとするとときに必要なことは、お互いを思いやる気持ち、支えあう気持ちで集団生活を送ること私は思います。幸せをつかめる集団であるために、優しさ、思いやり、支えあいを大切にしてほしいと思います。支えあう集団から、優しさや思いやりあふれた集団から、幸福実現の力は高まります。

明日は新入生が入学してきます。先輩としての力を発揮するスタートですね。後輩が入学して新たな岩屋中学校がスタートすることに、『ありがとう』と思いながら、新入生に本校の強みである、あいさつ、生徒会活動、集会時の態度、部活動、凡事徹底、地域への参加など強みを教えてください。そして、新入生の力も加えて、もっと飛躍できるように教えてください。期待しています。